

令和5年度 香美市協働推進計画 進捗管理シート

※評価対象とした協働事業は、第2次香美市振興計画「実施計画」において、「市民との協働」に該当しているものから選出しています。

A：できている B：概ねできている C：あまりできていない D：できていない (単位：円)

No.	形態	事業名	協働主体 (パートナー)	事業内容	「香美市協働推進計画」 取り組み評価シートより		評価	評価理由 (具体的な取組内容、次期への取組み)等	事業費 (R5年度 実績見込)	備考 (内訳や開催 回数等)	所管課
					基本方針1 「情報の発信と共有の 推進」	基本方針2 「協働参画 に向けた環境 整備」					
1	行政主導 (情報共有)	広報発行事業、 HP運営事業、 フェイスブック運営 事業	市民	まちづくり活動 への市民の参画を 促進するため、協 働のまちづくりに 関する情報(助成 事業・市民活動の 状況など)を積極 的に発信する。	(1)	①協働事業開始時の事前 協議と目的の共有	該当なし	事業実施主体ではないため。	19,081,000 (予算額)		総務課
				(2)	①広報やHPでの分かり やすい情報発信	A	各種協働事業について、広報やHP等 での情報発信を積極的に行った。				
					②目標の設定と達成状況 の評価、公表	該当なし	目標設定や達成状況の確認が困難である ため。				
				(2)	①地域の多様な主体との 連携	B	各種協働事業に当事者として関わる「地 域における各種団体」と連携した情報発信 を行った。				
				(3)	②参加しやすいイベン ト・事業内容への工夫	該当なし	イベントや企画等を直接的に実施する事 業ではないため。				

令和5年度 香美市協働推進計画 進捗管理シート

A：できている B：概ねできている C：あまりできていない D：できていない

(単位：円)

No.	形態	事業名	協働主体 (パートナー)	事業内容	「香美市協働推進計画」 取り組み評価シートより		評価	評価理由 (具体的な取組内容、次期への取組み)等	事業費 (R5年度 実績見込)	備考 (内訳や開 催回数等)	所管課		
					基本方針1 「情報の発信と共有の 推進」	基本方針2 「協働参画 に向けた環 境整備」							
2	市民主導 (補助)	香美市・高 知工科大学 地域活動奨 励事業	高知工科大学	高知工科大学と 連携し地域振興を 図るため、高知工 科大学が取り組む 地域に貢献する事 業に要する経費に 対し、予算の範囲 内において補助金 を交付する。	基本方針1 「情報の発信と共有の 推進」	(1)	①協働事業開始時の事前 協議と目的の共有	該当なし	高知工科大学が地域と連携する事業のために補 助するものとして創設したもの。	3,000,000		企画財政課	
						(2)	①広報やHPでの分かり やすい情報発信	B					HP掲載と高知工科大学担当者にメール送信し ている。
							②目標の設定と達成状況 の評価、公表	該当なし					高知工科大学が地域と連携する事業のためのも ので評価等は実施していない。
						(2)	①地域の多様な主体との 連携	該当なし					高知工科大学が地域と連携する事業のためのも ので特に制限等はない。
							(3)	②参加しやすいイベン ト・事業内容への工夫					該当なし
3	市民・行政 (事業協 力)	まちづくり 委員会	市民	まちづくりの推 進に関する意見提 言などを行い、市 政への市民の参画 を推進する。	基本方針1 「情報の発信と共有の 推進」	(1)	①協働事業開始時の事前 協議と目的の共有	該当なし	今年度開始又は見直した協働事業ではないため	520,000	香美市まちづく り委員会3回開 催	企画財政課	
						(2)	①広報やHPでの分かり やすい情報発信	B					委員会開始前には公式HPに開催予定を掲載 し、委員会終了後は会議概要、資料を公式HPで 公表した。一部見づらい箇所があるので、来年度 の香美市公式HPリニューアルに併せて改善して いく。
							②目標の設定と達成状況 の評価、公表	該当なし					委員会として目標設定・公表する事業ではない ため
						(2)	①地域の多様な主体との 連携	B					委員20名中14名は、地域の各種団体から推薦さ れた委員であり、闊達な意見交換を行うことがで きた。
							(3)	②参加しやすいイベン ト・事業内容への工夫					該当なし

	形態	事業名	協働主体 (パートナー)	事業内容	「香美市協働推進計画」 取り組み評価シートより		評価	評価理由 (具体的な取組内容、次期への取り組み)等	事業費 (R5年度 実績見込)	備考 (内訳や開 催回数等)	所管課	
4	市民主導 (補助)	香美市学生 地域活動 支援事業	高校生、大 学生	地域振興を図る ため、高知大、高 知県立大、高知工 科大、山田高校の 学生団体に対し て、香美市内で行 う地域活動事業に 要する経費を予算 の範囲内において 補助金を交付す る。	基本方針1 「情報の発 信と共有の 推進」	(1)	①協働事業開始時の事前 協議と目的の共有	該当なし	2,000,000		企画財政課	
						(2)	①広報やHPでの分かり やすい情報発信	B				HP掲載と各担当者にメール送信している。
					②目標の設定と達成状況 の評価、公表		該当なし	学生がが地域と連携する事業のためのもので評 価等は実施していない。				
					基本方針2 「協働参画 に向けた環 境整備」		(2)	①地域の多様な主体との 連携				該当なし
						(3)	②参加しやすいイベン ト・事業内容への工夫	該当なし				イベント等を積極的に行う事業ではない。



令和5年度 香美市協働推進計画 進捗管理シート

A：できている B：概ねできている C：あまりできていない D：できていない

(単位：円)

No.	形態	事業名	協働主体 (パートナー)	事業内容	「香美市協働推進計画」 取り組み評価シートより		評価	評価理由 (具体的な取組内容)、次期への取組み等	事業費 (R5年 度実績見込)	備考 (内訳や開 催回数等)	所管課	
					基本方針1 「情報の発信と共有の 推進」	基本方針2 「協働参画 に向けた環 境整備」						
7	市民・行政 (共催)	ものづくり 会議	民間事業 者・民間団 体・高知工 科大学・山 田高校・行 政	産業を取り巻く 課題を共有し、そ の解決策を協議す る。 また、産業に携 わる方の意見を聞 くことで、具体的 な支援策を探る。	基本方針1 「情報の発信と共有の 推進」	(1)	①協働事業開始時の事前 協議と目的の共有	該当なし	今年度開始又は見直した協働事業ではないため	1,184,000	ものづくり会議 本会議を2回開催 ほか分科会を開 催 土佐山田フラフ 分科会 2回 物部川ブランド 分科会 3回 ふるさと納税分 科会 2回	定住推進課
						(2)	①広報やHPでの分かり やすい情報発信	B	フラフフォトコンテストやものづくり大賞等広 報及びHPに情報を公開した。			
							②目標の設定と達成状況 の評価、公表	該当なし	委員会として目標設定・公表する事業ではない ため			
						(2)	①地域の多様な主体との 連携	B	民間事業者・民間団体・高知工科大学・山田高 校等と連携して取り組んでいる。			
(3)	②参加しやすいイベン ト・事業内容への工夫	B	フォトコンテスト等だれでも参加できる事業内 容としている。									
8	行政主導 (委託)	香美市移住 定住交流業 務委託	NPO法人い なかみ	NPO法人に移住定 住交流業務を委託。 市と連携し、香美市 移住定住交流セン ターを拠点に業務を 行う。①移住相談窓 口業務②移住者に対 する定住支援の取組 ③地域住民に対する 移住協力の取組④お 試し住宅の管理⑤移 住定住交流業務	基本方針1 「情報の発信と共有の 推進」	(1)	①協働事業開始時の事前 協議と目的の共有	該当なし	今年度開始又は見直した協働事業ではないため	59,762,000	香美市移住定住 推進協議会：1 回	定住推進課
						(2)	①広報やHPでの分かり やすい情報発信	B	委員会開始前には公式HPに開催予定を掲載 し、委員会終了後は会議概要を作成し、会長に承 認されたのち、資料を公式HPで公表予定。			
							②目標の設定と達成状況 の評価、公表	該当なし	委員会として目標設定・公表する事業ではない ため			
						(2)	①地域の多様な主体との 連携	B	今年度から地域の改修工事業者も委員として参 加いただいた。			
(3)	②参加しやすいイベン ト・事業内容への工夫	該当なし	イベント等の企画はないため									

	形態	事業名	協働主体 (パートナー)	事業内容	「香美市協働推進計画」 取り組み評価シートより		評価	評価理由 (具体的な取組内容)、次期への取組み等	事業費 (R5年 度実績見込)	備考 (内訳や開 催回数等)	所管課	
9	市民主導 (補助)	姉妹都市交 流事業 (国 内)	香美市姉妹 都市友好都 市交流推進 協議会	姉妹及び友好関 係にある国内の都 市間と相互の友好 を深め、住民文化 と地域間交流を図 るため、各種交流 事業等を行う。	基本方針1 「情報の発 信と共有の 推進」	(1)	①協働事業開始時の事前 協議と目的の共有	該当なし	3,000,000	総会は年に1回 開催。イベント については、 【姉妹都市：積 丹町】YOSAKOI ソーラン祭りへ 参加。【姉妹都 市あわら市】北 陸新幹線開業半 年前イベントへ 参加。【香美市 でのイベント】 土佐山田祭り、 刃物祭りへ参 加。	定住推進課	
						(2)	①広報やHPでの分かり やすい情報発信	B				参加者募集のイベントや姉妹都市盟約記念講演 会については、広報やHPで情報発信が出来た。 姉妹都市の交流事業後は、広報香美に記事を掲載 し情報発信をした。
						(2)	②目標の設定と達成状況 の評価、公表	該当なし				協議会として目標設定・公表する事業ではない ため
					基本方針2 「協働参画 に向けた環 境整備」	(2)	①地域の多様な主体との 連携	B				姉妹都市の会員に地元の企業や市民団体の方が 入っており、総会への出席や活動に係る参加や支 援など適宜連絡を取っている。
					(3)	②参加しやすいイベン ト・事業内容への工夫	B	参加者募集のイベントや姉妹都市盟約記念講演 会については、市民の方へ広報やHPを通じて情 報発信をすることが出来た。				
10	市民主導 (補助)	香美市提案 型市民主役 事業	市民 活動団体	市長が定める テーマについて、 「市民が考え、市 民が主体となっ て、市民のために 提供する」様々な 事業を応援する。	基本方針1 「情報の発 信と共有の 推進」	(1)	①協働事業開始時の事前 協議と目的の共有	D	500,000	採択団体1団体 のため、開催1回	定住推進課	
						(2)	①広報やHPでの分かり やすい情報発信	B				広報・HPで、募集に関する情報発信。令和6年 度は、同上のとおり。
						(2)	②目標の設定と達成状況 の評価、公表	該当なし				(年度末に急遽決まった補助事業であるため、目 標を設定しなかったが、令和6年度は同上のとおり 市民に向けての協働の準備を整えている。)
					基本方針2 「協働参画 に向けた環 境整備」	(2)	①地域の多様な主体との 連携	B				補助事業採択団体は、原則市民等からなる団体 のため、連携は取れている。
					(3)	②参加しやすいイベン ト・事業内容への工夫	B	市民参加がしやすい要綱等となっている。				

令和5年度 香美市協働推進計画 進捗管理シート

A：できている B：概ねできている C：あまりできていない D：できていない

(単位：円)

No.	形態	事業名	協働主体 (パートナー)	事業内容	「香美市協働推進計画」 取り組み評価シートより		評価	評価理由 (具体的な取組内容)、次期への取組み等	事業費 (R5年 度実績見込)	備考 (内訳や開催 回数等)	所管課		
					基本方針1 「情報の発信と共有の 推進」	基本方針2 「協働参画 に向けた環境整備」							
11	市民主導 (補助)	香美市林業 婦人部 補助金	香美市林業 婦人部	地域林業団体の育成と振興を図るため、香美市林業婦人部のおこなう林業経営の改善に必要な調査、研究、地域林業の発展向上に貢献する事業等に対する支援。	基本方針1 「情報の発信と共有の推進」	(1)	①協働事業開始時の事前協議と目的の共有	該当なし	今年度開始又は見直した協働事業ではないため	100,000	イベント出展 3回 視察研修 1回 市内保育園での体験事業 2回 定例会 7回	農林課	
						(2)	①広報やHPでの分かりやすい情報発信	D					(R7年度に、結成35周年を記念した講演会を計画している。)
					基本方針2 「協働参画に向けた環境整備」	(2)	②目標の設定と達成状況の評価、公表	該当なし	目標設定、公表する事業ではないため				
						(3)	①地域の多様な主体との連携	B	物部川フォーラム等への参加や、市内保育園での体験学習を行っている。				
12	行政主導 (委託)	協働の森整備委託事業	企業、高知県、市、物部森林組合	環境先進企業と地域とが協働して「森林の再生」と「交流の促進」を柱とした取り組みを行うことで、現在、手入れの行き届かない状況となっている森林(人工林)の再生を進める。	基本方針1 「情報の発信と共有の推進」	(1)	①協働事業開始時の事前協議と目的の共有	該当なし	今年度開始又は見直した協働事業ではないため	871454	協働の森整備委託費: 500,000円 交流事業規模拡大: 371,454円	農林課	
						(2)	①広報やHPでの分かりやすい情報発信	B					香美市HP及び高知県協働の森づくり事業として、高知県HPにおいても情報発信が行われている。
						(3)	②目標の設定と達成状況の評価、公表	該当なし					目標設定、公表する事業ではないため
					基本方針2 「協働参画に向けた環境整備」	(2)	①地域の多様な主体との連携	B	協定森林の整備にあたり、協定森林がある平山地区住民と協議の場を設けた。また、平山集落活動センターに協力いただき、3月の交流活動への地元住民の参加を呼び掛けている。				
						(3)	②参加しやすいイベント・事業内容への工夫	B	3月に交流活動として、協働の森パートナーズ協定を締結している環境先進企業の社員と香美市内の小学生、平山地区住民を対象に、広葉樹の植樹体験のイベントを実施する。				

令和5年度 香美市協働推進計画 進捗管理シート

A：できている B：概ねできている C：あまりできていない D：できていない

(単位：円)

	形態	事業名	協働主体 (パートナー)	事業内容	「香美市協働推進計画」 取り組み評価シートより		評価	評価理由 (具体的な取組内容)、次期への取組み等	事業費 (R5年 度実績見込)	備考 (内訳や 開催回数等)	所管課	
13	市民主導 (補助)	土佐塩の道 保存会 香美支部事 業補助金	土佐塩の道 保存会香美 支部	塩の道及びこれに付随 した施設等の環境整備、 維持管理に対する補助。	基本方針1 「情報の発 信と共有の 推進」	(1)	①協働事業開始時の事前 協議と目的の共有	該当なし	今年度開始又は見直した協働事業ではないた め。	700,000	第15回土佐塩 の道30km うおーく 令和5年4月 22日(土)開 催	商工観光課
						(2)	①広報やHPでの分かり やすい情報発信	C	ポスター掲示やチラシ配布は行ったが、HP等 での情報発信が行えていなかったため。来年度は もっとHP等での情報発信を行っていく。			
							②目標の設定と達成状況 の評価、公表	該当なし	目標設定・公表する事業ではないため。			
					基本方針2 「協働参画 に向けた環 境整備」	(2)	①地域の多様な主体との 連携	B	イベントを行う際は、龍河洞保存会や観光協 会、自衛隊などとの連携できている。			
						(3)	②参加しやすいイベン ト・事業内容への工夫	B	「土佐塩の道30kmうおーく」では、通常 の30kmコースと20kmのショートコースの2種類 から選んで参加することが可能となり、さらに幅 広く参加してもらえるようになった。			
14	市民・行政 (実行委員 会)	広域観光	一般社団法 人物部川 DMO協議 会、南国 市、香南市	物部川流域に点在する 観光地・観光施設で連携 し、効果的なマーケティング 施策を実施しながら、地域 内で滞在・周遊する旅行商 品や特産品の開発を行い、 観光地のブランド化とイン バウンド誘致による観光消 費額の増加、観光施設の雇 用拡大、関連する企業や 個人事業者の創業、移住 促進を図る。	基本方針1 「情報の発 信と共有の 推進」	(1)	①協働事業開始時の事前 協議と目的の共有	該当なし	今年度開始又は見直した協働事業ではないた め。	55,000,000	ものがわ フェスタ 令和5年12 月23日 (土) M I A R E ! (南国市)	商工観光課
						(2)	①広報やHPでの分かり やすい情報発信	A	同協議会HPについて、利用者が見やすいよう に改修を行った。また、同協議会の行う、事業 について、市の広報誌、Facebookや観光協 会のHP等で周知された。			
						②目標の設定と達成状況 の評価、公表	B	KPIを設定し、同協議会総会で会員及び関係 団体へ公表している。				
					基本方針2 「協働参画 に向けた環 境整備」	(2)	①地域の多様な主体との 連携	B	子ども向けのお仕事体験を商品化し、エリア 内の事業所を巻き込んでいる。			
						(3)	②参加しやすいイベン ト・事業内容への工夫	D	県外客の集客を目的としたイベントを開催し ているが、できていない。			



令和5年度 香美市協働推進計画 進捗管理シート

A：できている B：概ねできている C：あまりできていない D：できていない (単位：円)

	形態	事業名	協働主体 (パートナー)	事業内容	「香美市協働推進計画」 取り組み評価シートより		評価	評価理由 (具体的な取組内容)、次期への取り組み等	事業費 (R5年度 実績見込)	備考 (内訳や開催 回数等)	所管課	
15	市民・行政 (実行委員会)	香美市地球 温暖化対策 地域協議会	各種団体等	地球温暖化の要因である温室効果ガス削減のため排出量が増加傾向にある民生部門での削減に向け、市民、商工会、学識経験者等で構成される会議を開催し、温室効果ガス排出の抑制等を協議し対策を実践する。	基本方針1 「情報の発信と共有の推進」	(1)	①協働事業開始時の事前協議と目的の共有	該当なし	今年度開始又は見直した協働事業ではないため。	45,000	協議会 2回	環境課
						(2)	①広報やHPでの分かりやすい情報発信	B	協議会開始前には公式HPに開催予定を掲載し、協議会終了後は会議概要、資料を公式HPで公表している。			
							②目標の設定と達成状況の評価、公表	該当なし	協議会として目標設定・公表する事業ではないため。			
					基本方針2 「協働参画に向けた環境整備」	(2)	①地域の多様な主体との連携	B	委員10名全員が地域の各種団体から推薦された者もしくは香美市民であり、地域の実情を踏まえた意見交換を行うことができる。			
(3)	②参加しやすいイベント・事業内容への工夫	B	協議会の中で提案されたことが、「よってたかって香美市でエコ!」という新たな環境啓発イベントとして実施された。									

令和5年度 香美市協働推進計画 進捗管理シート

A：できている B：概ねできている C：あまりできていない D：できていない

(単位：円)

形態	事業名	協働主体 (パートナー)	事業内容	「香美市協働推進計画」 取り組み評価シートより		評価	評価理由 (具体的な取組内容)、次期への取り組み等	事業費 (R5年 度実績見込)	備考 (内訳や 開催回数等)	所管課		
16	市民・行政 (共催)	交流事業	宝町・黒土 町内会  宝町子ども を育てる会	地域住民を対 象とした、各種 クラブ活動、レ クリエーショ ン、教養・文化 活動等地域住民 の交流を図る事 業。	基本方針1 「情報の発 信と共有の 推進」	(1)	①協働事業開始時の事 前協議と目的の共有	B	3,500	1回	ふれあい交流 センター	
						(2)	①広報やHPでの分か りやすい情報発信	B				広報香美やセンターだよりで開催情報を発信し、地元 の子ども会にも声がけをした。
							②目標の設定と達成状 況の評価、公表	該当なし				令和6年3月28日に事業内容を見直して実施予定。
					基本方針2 「協働参画 に向けた環 境整備」	(2)	①地域の多様な主体と の連携	B				宝町子どもを育てる会とは、企画段階から協議してい る。宝町・黒土町内会に声がけをし参加者を募っては いるが、協働で企画するには至っていない。
						(3)	②参加しやすいイベ ント・事業内容への工夫	B				(以前行っていた)ウォーキングは参加しやすい内容 ではあったものの、より交流につながるように、内容 を運動会等に変更した。
17	行政主導 (情報共 有)	男女共同参 画事業	香美市男女 共同参画推 進委員	男女共同参画 社会の実現を目 指すために、審 議や協議を共に して、啓発に努 める。	基本方針1 「情報の発 信と共有の 推進」	(1)	①協働事業開始時の事 前協議と目的の共有	B	54,000	委員会を2回 開催見込	ふれあい交流 センター	
						(2)	①広報やHPでの分か りやすい情報発信	B				委員会開始前には公式HPに開催予定を掲載し、委員 会終了後は会議概要を公表した。
							②目標の設定と達成状 況の評価、公表	該当なし				委員会として目標設定・公表する事業ではないため。
					基本方針2 「協働参画 に向けた環 境整備」	(2)	①地域の多様な主体と の連携	B				地域の人権擁護委員を講師に招き、市内の児童クラブ において出前講座を実施することができた。
						(3)	②参加しやすいイベ ント・事業内容への工夫	C				単独での計画はないが、よってたかって生涯フォー ラムでクイズラリー等を計画中。

令和5年度 香美市協働推進計画 進捗管理シート

A：できている B：概ねできている C：あまりできていない D：できていない

(単位：円)

形態	事業名	協働主体 (パートナー)	事業内容	「香美市協働推進計画」 取り組み評価シートより	評価	評価理由 (具体的な取組内容)、次期への取り組み等	事業費 (R5年度 実績見込)	備考 (内訳や開 催回数等)	所管課		
18	市民・行政 (実行委員会)	香美市 キャリア チャレンジ デイ	中学生・工 科大教職 員・工科大 生・中学校 教職員・ PTA	地域の協力の もと、中学生 向けに実施 されるキャリア 教育プログラ ムであり、 実際の社会人 と交流し、そ の生き方や考 え方に直接触 れることで職 業観、勤労観 を育む。	基本方針1 「情報の発信 と共有の 推進」	(1) ①協働事業開始時の事前 協議と目的の共有	該当なし	今年度開始又は見直した事業ではないため	995,900	主催：香美市教育委員会 日時：令和5年9月8日(金) 対象：香美市内全中学生 (2年生 約160人) 場所：各3中学校 内容： ①オンラインによるスペシャルトークセッション(6企業) ②体面による一斉ワークショップ(地元企業)	教育振興課
						(2) ①広報やHPでの分かり やすい情報発信	B	キャリアチャレンジデイ実施前、実施後に、各校において情報発信をしたり、工科大生、教職員に向けて情報発信を行ったり、地域に向けて内容を広報等で取組内容を発信するなどした。			
						(2) ②目標の設定と達成状況 の評価、公表	該当なし	委員会として目標設定・公表する事業ではないため			
					基本方針2 「協働参画 に向けた環 境整備」	(2) ①地域の多様な主体との 連携	B	キャリアチャレンジデイの講師として、子どもたちに出会わせたいと思わせる講師の選定等に学校運営協議会も関わりながら実施することができた学校もあった。次期は、どの学校においても学校運営協議会や地域学校協働活動推進員と一緒に取組んでいけるように改善していく。			
						(3) ②参加しやすいイベン ト・事業内容への工夫	C	コロナ禍前と比べて開催形態も異なるため、地域、保護者の参加等がほとんどない状況となっている。次期は、地域も一緒になって学べるように事前の案内等の出し方を工夫していく。			

	形態	事業名	協働主体 (パートナー)	事業内容	「香美市協働推進計画」 取り組み評価シートより		評価	評価理由 (具体的な取組内容、次期への取組み等)	事業費 (R5年度 実績見込)	備考 (内訳や開 催回数等)	所管課	
19	市民・行政 (情報共 有)	コミュニ ティ・ス クール推進 事業	地域住民・ 企業団体・ 学校・ PTA・家庭	地域が学校 運営に参画で きる学校運営 協議会を設置 し、学校や地 域の成果課題 (学校関係者 評価)等を共 有しながら 「地域ととも にある学校づ くり」を推進 する。	基本方針1 「情報の発 信と共有の 推進」	(1)	①協働事業開始時の事前 協議と目的の共有	該当なし	2,384,000	学校運営協議会 開催回数 (令和6年1月1日 現在) 舟入小学校：3回 山田小学校：2回 楠目小学校：3回 片地小学校：5回 香長小学校：4回 大宮小・香北中 学校：3回 鏡野中学校：3回 大栃小・大栃中 学校：5回	教育振興課	
						(2)	④広報やHPでの分かり やすい情報発信	C				各校ごとに取り組みは発信されているが、市として広報 やHP等での発信は行っていないため。
							②目標の設定と達成状況 の評価、公表	B				学校評価については、全校において発信できている。ま た、CS(コミュニティ・スクール)の取組については、各校 において学校だよりなどで紹介しているが、こうしたCS の取組についての発信を全校において行えるように改善し ていく。
					基本方針2 「協働参画 に向けた環 境整備」	(2)	①地域の多様な主体との 連携	B	地域住民、学校、PTA、民生委員、放課後児童クラブ、 家庭等、学校を取り巻く様々な人たちが構成された協議会 であり、学校運営や校区の連携について熟議しながら取り 組むことができた。			
(3)	②参加しやすいイベン ト・事業内容への工夫	該当なし	イベント等の企画はないため									
20	行政主導 (指定管 理)	放課後児童 健全育成事 業	NPO法人 かみっこ ベース	保護者が労 働等により昼 間家庭にいな い、小学校に 就学している 児童に対し、 授業の終了後 に児童厚生施 設等を利用し て安全ですこ やかな遊び及 び生活の場を 提供する。	基本方針1 「情報の発 信と共有の 推進」	(1)	①協働事業開始時の事前 協議と目的の共有	該当なし	162,414,800円	児童クラブ指定 管理料	教育振興課	
						(2)	④広報やHPでの分かり やすい情報発信	B				HPの児童クラブの状況を定期的に更新している。ま た、入所案内についても最新情報を発信している。
							②目標の設定と達成状況 の評価、公表	B				待機児童の解消を目標とし、放課後子ども教室を新設 (R6)することで、改善を図っていく。
					基本方針2 「協働参画 に向けた環 境整備」	(2)	①地域の多様な主体との 連携	B	NPO法人かみっこベースと学校との連携・連絡は、日頃 から密に行っている。また、保護者と児童クラブとの交流 を、今後さらに促進していく予定。			
(3)	②参加しやすいイベン ト・事業内容への工夫	該当なし	教育委員会としては、イベント等の企画は行っていない ため									

令和5年度 香美市協働推進計画 進捗管理シート

A：できている B：概ねできている C：あまりできていない D：できていない (単位：円)

No.	形態	事業名	協働主体 (パートナー)	事業内容	「香美市協働推進計画」 取り組み評価シートより		評価	評価理由 (具体的な取組内容)、次期への取り組み等	事業費 (R5年度 実績見込)	備考 (内訳や開催 回数等)	所管課	
21	行政主導 (委託)	子育て援助 活動支援 事業 (ファミ リリーサ ポートセン ター事業)	特定非営利 活動法人い なかみ	地域の中で子育ての援助を受けたい人と、子育ての手伝いをしたい人が会員となり、助け合う会員組織を構築し、会員間で行われる相互援助活動に関する連絡や調整などの支援を行う。	基本方針1 「情報の発信と共有の 推進」	(1)	①協働事業開始時の事前協議と目的の共有	該当なし	3,990,000	援助会員講習会：2 回実施 定例会：6回実施	子育て支援センター	
						(2)	①広報やHPでの分かりやすい情報発信	B				援助会員講習会への参加募集を広報へ掲載した。また、県が運営する子育てアプリでの情報発信も行った。情報発信は委託先NPO法人に委ねている部分が多く、子育てセンターからの発信にも力を入れる必要がある。
						(2)	②目標の設定と達成状況の評価、公表	A				教育振興計画の実施計画評価において目標設定、評価、公表を行っている。
					(2)	①地域の多様な主体との連携	A	ファミサポ事業運営の委託先であるNPO法人を核として、繋がりある多方面の団体や住民に対して、日頃から事業についての情報共有がはかれた。				
				基本方針2 「協働参画に向けた環境整備」	(3)	②参加しやすいイベント・事業内容への工夫	B	NPO法人の発案に添い、援助会員講習会を、父母などが子育て講座として参加できるよう柔軟に参加希望者を受け入れた。				

令和5年度 香美市協働推進計画 進捗管理シート

A：できている B：概ねできている C：あまりできていない D：できていない (単位：円)

形態	事業名	協働主体 (パートナー)	事業内容	「香美市協働推進計画」 取り組み評価シートより	評価	評価理由 (具体的な取組内容)、次期への取組み等	事業費 (R5年度 実績見込)	備考 (内訳や開催回数 等)	所管課			
22	市民・行政 (実行委員会)	よってた かって 生涯学習 フォーラム	市民活動団 体、保幼小 中高・大 学、企業等	高知県立山田 高等学校等を舞 台とし、小中高 校生などの活動 報告や各種団体 の共演による市 民参加型の フォーラムを開 催する。	(1)	①協働事業開始時の事前 協議と目的の共有	B	市内各団体、小中学校、特別支援学校、 保育園・幼稚園等に参加を呼びかけ実行委 員会を開催し、共有。	2,257,000	令和5年7月7日第1回企 画会議 令和5年7月29日第1回子 ども企画委員会 令和5年8月4日第1回広 報委員会 令和5年8月16日第2回子 ども企画委員会 令和5年9月5日第2回企 画会議 令和5年9月21日第1回実 行委員会 令和5年10月6日第2回広 報委員会 令和5年12月15日第2回 実行委員会 令和5年12月26日第3回 子ども企画委員会 令和6年1月19日第3回広 報委員会 令和6年2月17日よって たかって生涯学習フォー ラム 令和6年2月22日第3回実 行委員会・反省会	生涯学習振興 課	
					基本方針1 「情報の発 信と共有の 推進」	(2)	①広報やHPでの分かり やすい情報発信	B				広報・HPで周知。ポスター掲示やチラシ 配布により情報発信。
						(2)	②目標の設定と達成状況 の評価、公表	B				目標は延べ来場者数を人口の約1割、 2,600人と設定。 来場者や出店・協力者へ、アンケート等 にて意見を集約し、終了後の実行委員会に おいて検討予定。また実施状況は広報にて 周知予定。
					基本方針2 「協働参画 に向けた環 境整備」	(2)	①地域の多様な主体との 連携	A				実行委員会には市内関係団体に広く参加 を呼びかけた他、広報、HPで参加を呼び かけた。
(3)	②参加しやすいイベ ント・事業内容への工夫	B	実行委員会、企画会議、子ども企画委員 会等で市民や有識者から企画を募り、内容 を検討した。また、広報やHP等で広く発 表者・出展者を募った。									

形態	事業名	協働主体 (パートナー)	事業内容	「香美市協働推進計画」 取り組み評価シートより		評価	評価理由 (具体的な取組内容)、次期への取組み等	事業費 (R5年度 実績見込)	備考 (内訳や開催回数 等)	所管課		
23	市民・行政 (実行委員会)	香美市芸術 祭	香美市文化 協会	俳句会、短歌 会、写真審査 会、社交ダンス 発表会、芸能大 会、文化展、合 唱団定期演奏会 を開催する。	基本方針1 「情報の発 信と共有の 推進」	(1)	①協働事業開始時の事前 協議と目的の共有	B	520,000	令和5年4月6日実行委員 会役員会 令和5年4月12日実行委 員会総会 令和5年9月23日短歌 会・俳句会 令和5年10月3日写真審 査会 令和5年10月9日社交ダ ンス発表会 令和5年10月21日22日文 化展 令和5年10月29日芸能大 会 令和5年11月26日合唱団 定期演奏会	生涯学習振興 課	
						(2)	①広報やHPでの分かり やすい情報発信	B				広報・HPで周知。文化協会加入サークル には個別に通知を送付。市内小中学校、保 育園・幼稚園へ周知。 また、高知県芸術祭の協賛行事として、 高知県芸術祭のHPや冊子により広報。
							②目標の設定と達成状況 の評価、公表	B				行政としての明確な目標設定はないが、 地域と一体となって文化芸術に親しむ機会 となるよう、行政はPR、実行委員の加入団 体が参加者を増やす役割分担とし、広報、 高知県芸術祭実施報告、芸術祭記録誌・作 成、配布により、活動状況の公表を行っ た。
					基本方針2 「協働参画 に向けた環 境整備」	(2)	①地域の多様な主体との 連携	A				文化サークル、市内各学校・保育園・幼 稚園のみでなく、市内の福祉施設、特別支 援学校等各種団体にも参加いただき開催。
						(3)	②参加しやすいイベン ト・事業内容への工夫	A				文化展では大きな制約を設けず広く出展 作品を募集、芸能大会でも多様な演目で実 施し、参加しやすく幅広く楽しむイベント としている。

	形態	事業名	協働主体 (パートナー)	事業内容	「香美市協働推進計画」 取り組み評価シートより		評価	評価理由 (具体的な取組内容)、次期への取組み等	事業費 (R5年度 実績見込)	備考 (内訳や開催回数 等)	所管課	
24	市民・行政 (共催)	香美市体育 大会	香美市体育 協会	スポーツを楽し む機会を得る ことによって、 スポーツの振興 を図り、強健な 体と明るく豊か な心情を培い、 地域社会のひと づくりの要請に こたえるもので ある。種目は、 バレーボール、 ペタンク、ソフ トボール、卓 球、バドミント ン、ソフトテニ ス、弓道など。	基本方針1 「情報の発 信と共有の 推進」	(1)	①協働事業開始時の事前 協議と目的の共有	B	各種目の開催時期について、種目毎の主 体と連絡を取り合い、市民が参加しやすい 時期となるように工夫した。	440,000	10種目実施※ (弓道、バレーボール (混合、女子)、ペタン ク、バドミントン、卓 球、マレットゴルフ、グ ラウンド・ゴルフ、ビー チボールバレー (男子、 女子)) ※ソフトテニス事業開 始前に主体と相談の上中 止、ソフトボールは参加 チームが集まらずに中 止。	生涯学習振興 課
						(2)	①広報やHPでの分かり やすい情報発信	B	広報・HP・文書等を用いて開催時期等 を掲載した。また、大会結果についても、 広報にて掲載した。			
							②目標の設定と達成状況 の評価、公表	該当なし	事業の趣旨が数値化できるものではない ため。			
					基本方針2 「協働参画 に向けた環 境整備」	(2)	①地域の多様な主体との 連携	B	各種目の開催時期に合わせて、協働主体 や競技役員との打合せや必要物品の確認を 綿密に行う事ができた。			
						(3)	②参加しやすいイベン ト・事業内容への工夫	C	事業開始前の段階で今年度は中止した種 目や、募集はかけたものの参加団体が無く 中止となった種目があった。来年度は種目 の変更等、より多くの市民が参加できるよ うな大会を目指したい。			



令和5年度 香美市協働推進計画 進捗管理シート

(単位：円)

	形態	事業名	協働主体 (パートナー)	事業内容	「香美市協働推進計画」 取り組み評価シートより		評価	評価理由 (具体的な取組内容)、次期への取り組み等	事業費 (R5年度 実績見込)	備考 (内訳や開催 回数等)	所管課	
25	行政主導 (事業協 力)	吉井勇顕彰 短歌大会	市民活動団 体・学校	全国から短歌作 品を募集し、入賞 作品の表彰を行 う。	基本方針1 「情報の発 信と共有の 推進」	(1)	①協働事業開始時の事前 協議と目的の共有	該当なし	今年度開始した事業ではないため	254,800	年1回3月に実施 短歌大会の冊子 を作成し、市内各 学校及び投稿者へ 配付	教育委員会 香北分室
						(2)	①広報やHPでの分かり やすい情報発信	B	市内小中高等学校、文化団体等に短歌大 会募集要項を送付したり、HPで周知し た。			
					②目標の設定と達成状況 の評価、公表		B	目標は投稿者数300名以上とし、毎年 継続していく。				
					基本方針2 「協働参画 に向けた環 境整備」		(2)	①地域の多様な主体との 連携	該当なし			
					(3)	②参加しやすいイベン ト・事業内容への工夫	該当なし	郵送等による応募形式のため				

令和5年度 香美市協働推進計画 進捗管理シート

A：できている B：概ねできている C：あまりできていない D：できていない (単位：円)

No.	形態	事業名	協働主体 (パートナー)	事業内容	「香美市協働推進計画」 取り組み評価シートより		評価	評価理由 (具体的な取組内容)、次期への取り組み等	事業費 (R5年度 実績見込)	備考 (内訳や開催 回数等)	所管課	
26	行政主導 (事業協 力)	子ども司書 養成講座	小学校・中 学校	読書活動に意欲 のある小・中学生 が「子ども司書」 となって、まわり の友達や家族、地 域で読書の楽しさ や大切さを広めて いく。	基本方針1 「情報の発 信と共有の 推進」	(1)	①協働事業開始時の事前 協議と目的の共有	該当なし	25,000	基礎研修 1回 実施研修 1回 専門研修 1回	図書館	
						(2)	①広報やHPでの分かり やすい情報発信	B				参加対象者が限られているため、学校あ てに文書での周知を行った。
							②目標の設定と達成状況 の評価、公表	該当なし				目標設定・公表する事業ではないため
					基本方針2 「協働参画 に向けた環 境整備」	(2)	①地域の多様な主体との 連携	B	香美市内小中学校と連携して事業を実施 することができた。			
						(3)	②参加しやすいイベン ト・事業内容への工夫	B	事業がマンネリ化しないよう毎年内容を 工夫して開催している。			

令和5年度 香美市協働推進計画 進捗管理シート

A：できている B：概ねできている C：あまりできていない D：できていない (単位：円)

No.	形態	事業名	協働主体 (パートナー)	事業内容	「香美市協働推進計画」 取り組み評価シートより		評価	評価理由 (具体的な取組内容)、次期への取り組み等	事業費 (R5年 度実績見込)	備考 (内訳や 開催回数等)	所管課	
					基本方針1 「情報の発信と共有の 推進」	基本方針2 「協働参画 に向けた環境整備」						
27	市民・行 (事業協 力)	街頭補導活 動	香美市少年 育成セン ター補導部 育成補導委 員	早朝・午前・ 午後・夜間・夏 期特別補導を 実施しており、 夜間補導と夏 期特別補導は 補導部育成 補導委員が 参加し、子ども の見守り活動 を行っている。	(1)	①協働事業開始時の事前 協議と目的の共有	該当なし	今年度開始又は見直した協働事業ではないため	72,000 円	夜間補導22 回、夏季補導 2回	少年育成セ ンター	
						(2)	①広報やHPでの分かり やすい情報発信	該当なし				街頭補導活動は、特に情報発信するものでないため
							②目標の設定と達成状況 の評価、公表	該当なし				街頭補導活動は、目標設定・公表する事業ではないため
					(2)	①地域の多様な主体との 連携	A	民生児童委員、警察、香美市見守り活動連絡協議会（やまびこ会）、香美市内小中高等学校教員及び行政職員等により巡回活動を行うことができた。				
(3)	②参加しやすいイベン ト・事業内容への工夫	該当なし	イベント等の企画はないため									
28	市民・行政 (事業協 力)	香美市子ども 会連合会 活動	香美市子ども 会連合会	ピットリタイム マラソン大会・ 夏休み地域交 流ラジオ体操 を開催すると ともに、土佐山 田まつりや奥物 部湖湖水祭りに 踊り子隊として 参加し、香美市 全体の子どもの 健全育成活動を 推進している。	(1)	①協働事業開始時の事前 協議と目的の共有	該当なし	今年度開始又は見直した協働事業ではないため	279,000円	運営委員会開 催 8回	少年育成セ ンター	
						(2)	①広報やHPでの分かり やすい情報発信	A				イベントの結果を広報に載せて情報発信している。
							②目標の設定と達成状況 の評価、公表	A				参加者数の目標を設定している。 (土佐山田まつり踊り子チーム：参加目標の40名を上回る77名の参加。親子ピットリタイムマラソン大会：参加目標の40名を上回る83名の参加。)
					(2)	①地域の多様な主体との 連携	該当なし	香美市子ども会連合会の主催事業は、各地区子ども会委員が運営を行っているため。				
(3)	②参加しやすいイベン ト・事業内容への工夫	A	令和4年度からピットリタイムマラソン大会を親子ピットリタイムマラソン大会として開催しており、親子で親睦を図る活動としている。									

令和5年度 香美市協働推進計画 進捗管理シート

A：できている B：概ねできている C：あまりできていない D：できていない (単位：円)

形態	事業名	協働主体 (パートナー)	事業内容	「香美市協働推進計画」 取り組み評価シートより	評価	評価理由 (具体的な取組内容)、次期への取り組み等	事業費 (R5年 度実績見込)	備考 (内訳や開催回数等)	所管課		
29	市民主導 (事業協力)	貸館事業	活動団体、 学校	企画展の展示 替え等の時期 に、展示室を貸 し出すことによ り、芸術活動を行 う団体及び小 中学校や高等学 校の作品発表の 場を提供。また アトリエを貸し 出し、芸術活動 を行う団体に絵 画教室等を行う 場を提供する。	基本方針1 「情報の発信 と共有の 推進」	(1) ①協働事業開始時の事前 協議と目的の共有	B	申請者から開催内容等について事前に協議している。	0円	・すみちゃんの絵手紙教室 (12 日間) ・たんぼぼ・きっず・あーと ぷろじェくと (4日間) ・香美市文化展 (6日間) ・パッチワークキルト サークル ぼえむ 作品展 X (5日間) ・高知県立山田高等学校第33回 芸術三科合同発表会 (10日間) ・香美市教育委員会主催事業 第18回香美市児童生徒作品展 (5日間)	美術館
					(2) ①広報やHPでの分かり やすい情報発信	B	公式HPに事業内容を掲載し、ダウンロード用 の申請様式を添付している。				
					(2) ②目標の設定と達成状況 の評価、公表	該当なし	目標設定・公表する事業ではないため				
					基本方針2 「協働参画 に向けた環 境整備」	(2) ①地域の多様な主体との 連携	B	地元団体と連携し、事業を実施した。			
(3) ②参加しやすいイベン ト・事業内容への工夫	該当なし	貸館事業であり、企画する事業ではない。									
30	市民・行政 (事業協力)	企画展事業	作家	文化芸術の振 興を図るため、 市内外の作家と 様々なジャンルの 美術作品を展 示し、市民に芸 術に触れる機会 を提供する。	基本方針1 「情報の発信 と共有の 推進」	(1) ①協働事業開始時の事前 協議と目的の共有	B	作家と事前協議をし、チラシ制作や企画内容の 見直しを行っている。	7,042,120円	企画展事業 (5回実施) ・響きあうかたち 小野寺か (彫刻) ・安芸真奈(版画) ・香美アートアニュアルvol.11 -新しい地平をひらく- ・画家・片木太郎をめぐる人々 ・染と織の表現 ・かわいい	美術館
					(2) ①広報やHPでの分かり やすい情報発信	B	広報や公式HP、Facebook等にチラシを掲載 し、開催内容・時期を公表した。				
					(2) ②目標の設定と達成状況 の評価、公表	B	企画毎の参加人数・入場料を目標設定してい る。評価はアンケート調査による集計結果を利用 し、関係機関や審議会等で報告のみで公表はして いない。				
					基本方針2 「協働参画 に向けた環 境整備」	(2) ①地域の多様な主体との 連携	B	教育機関と連携し、市内の全小学校4年生に出 前授業を実施し、展覧会で展示する作品を制作し た。			
(3) ②参加しやすいイベン ト・事業内容への工夫	B	収蔵品を活用した展示が多いため、マンネリ化 のないよう事業を計画している。									

	形態	事業名	協働主体 (パートナー)	事業内容	「香美市協働推進計画」 取り組み評価シートより		評価	評価理由 (具体的な取組内容)、次期への取り組み等	事業費 (R5年 度実績見込)	備考 (内訳や開催回数等)	所管課	
31	市民・行政 (事業協 力)	アトリエ事 業	作家	文化芸術の振 興を図るため、 市内外の作家と 様々なジャンルの ワークショップを開催し、市 民に芸術に触れ る機会を提供す る。	基本方針1 「情報の発 信と共有の 推進」	(1)	①協働事業開始時の事前 協議と目的の共有	B	チラシ制作や準備が必要なことから、作家と事 前に打ち合わせを行っている。	112,400円	アトリエ講座 (7回実施) ・成人対象教室 (高校生以上) 土佐和紙を使った木版画  ・子ども対象教室 (小学生対 象) 不思議な生きものをつくろう  ・子ども対象教室 (小学生対 象) おみせやさんをつくろう  ・子ども対象教室 (中学生対 象) 水墨画の掛軸づくり  ・成人対象教室 (高校生以上) ろうけつ染で幾何学模様染 める  ・成人対象教室 (高校生以 上) 手織り絵のカード作り  ・成人対象教室 (高校生以上) 美術史を学ぶ	美術館
						(2)	①広報やHPでの分かり やすい情報発信	B	広報や公式HPにチラシを掲載し、開催内容・ 時期を公表した。			
							②目標の設定と達成状況 の評価、公表	B	企画毎に参加人数の目標設定をしている。評価 は、アンケート調査による集計結果を活用し、関 係機関や審議会等で報告は行っているが、公表は していない。			
						(2)	基本方針2 「協働参画 に向けた環 境整備」	①地域の多様な主体との 連携	B			
(3)	②参加しやすいイベン ト・事業内容への工夫	B	参加者全員が美術を楽しみながら制作するた めに、年齢別 (小学校・中学校・高校生以上) に分 けて企画した。また、参加者が分かりやすいよ う、各工程の見本を準備した。									

令和5年度 香美市協働推進計画 進捗管理シート

A：できている B：概ねできている C：あまりできていない D：できていない (単位：円)

No.	形態	事業名	協働主体 (パートナー)	事業内容	「香美市協働推進計画」 取り組み評価シートより		評価	評価理由 (具体的な取組内容)、次期への取り組み等	事業費 (R5年 度実績見込)	備考 (内訳や 開催回数等)	所管課	
					基本方針1 「情報の発信と共有の 推進」	基本方針2 「協働参画 に向けた環境 整備」						
32	行政主導 (事業協力)	市民セミナー	講師(まちの先生登録者等)	協働主体の特性を生かした事業を展開し、香美市民の生涯学習振興へつなげる。平日日中学習を主としている。	基本方針1 「情報の発信と共有の 推進」	(1)	①協働事業開始時の事前協議と目的の共有	B	市民セミナーでは、講師を地域の方に依頼し、講座に参加した地域の方への知識の教授など人的資源を活かした学習事業を実施した。地域における学習を広げるため引き続き事業を実施する。	242,000円	市民セミナー7本(ライブコンサート、オープニングイベント、ものづくり教室(ハーブ、味噌)、防災講座、終活セミナー)	中央公民館
						(2)	①広報やHPでの分かりやすい情報発信	B	各種事業の情報発信は、チラシ・ポスターだけでなく、広報かみ及びHP・FBなどを活用した。今後、他のSNS(LINEやインスタグラム)を活用し、多くの市民に情報を発信する。			
					基本方針2 「協働参画 に向けた環境 整備」	(2)	②目標の設定と達成状況の評価、公表	B	事業毎に参加人数の目標を設定し、達成状況などは館内で共有している。また、達成状況の評価は、中央公民館審議会に報告するとともに、会議後には、会議資料と要録をHPで公表している。			
						(3)	①地域の多様な主体との連携	C	前年度は、企業の協力でセミナーを実施したが、今年度は実施できていない。今後、市民向けのセミナーを実施している社会福祉協議会と連携できる事業を検討・協議する。			
33	市民主導 (事業協力)	地区公民館事業	各地区公民館館長・主事・運営審議委員、講師、事業協力者	各地区公民館館長・主事が地域に根差した各種事業を企画する。内容については各地区運営審議会にて審議する。事業内容については、館長・主事が講師・事業協力者と協議する。	基本方針1 「情報の発信と共有の 推進」	(1)	①協働事業開始時の事前協議と目的の共有	B	年2回(年度初め・年度終わり)に、館長・主事会(中央公民館と全地区公民館長・主事)を開催し、事業の協議と意見交換の場を設け、目的を共有している。	7,300,000円	館長・主事会2回 地区公民館運営審議会 各地区2~3回 その他 地区公民館での各種事業	中央公民館
						(2)	①広報やHPでの分かりやすい情報発信	B	地区内のポスター掲示や地域内の回覧板などで事業を周知している。紙ベースの情報発信であるため、今後、PCやスマートフォンを活用した情報発信に努めたい。			
					基本方針2 「協働参画 に向けた環境 整備」	(2)	②目標の設定と達成状況の評価、公表	B	事業毎に参加人数の目標を設定し、達成状況などは館内で共有している。また、達成状況の評価は、中央公民館審議会に報告するとともに、会議後には、会議資料と要録をHPで公表している。			
						(3)	①地域の多様な主体との連携	C	地区によって連携出来る各種団体が無いなど、地域格差がある。			
						(3)	②参加しやすいイベント・事業内容への工夫	C	一部の地区では、従来の事業(教室)ではなく、小学校との連携・支援に取り組む地区公民館が存在している。一方で、地区の過疎・高齢化や運営側のマンパワー不足により、現状を維持することが精一杯の地区もある。			